

## 平成27年度事業報告書（案）

特定非営利活動法人 せんだいアビリティネットワーク

## 1 事業の成果

平成 27 年度は、本 NPO 法人にとって新しい 10 年をスタートさせる 1 年となった。この機会にて、これまでの常勤職員 5 名・非常勤職員 3 名の人員体制が、8 月より常勤職員 6 名・非常勤職員 2 名へ成長する事が出来た。

人員体制の拡大の一方で、法人設立時より在籍している 2 名の職員が現在も勤務を続け、設立後に在籍した職員らも全員が辞めることなく勤務を続けている事に触れておきたい。これは、毎年の事業報告では知ることが出来ない事柄である。また、本 NPO 法人の支援活動を必要とする方々にとっては大きな安心につながる事と言えよう。同時に、支援活動を行う職員にとっても、業務を続けられる環境であることは大きなプラスになる話である。現在、介護職や保育士の離職率に関するニュースを見聞きする機会が多くなっている中、職員が辞めることなく長く働ける職場を築けたことは、本 NPO 法人の誇れる事と言えよう。事業報告の詳細の前に、本事項を記しておきたい。

この様な人員環境で取り組んできた平成 27 年度の活動について、以下で詳細を報告していきたい。

## 【平成 27 年度せんだいアビリティネットワーク実施事業】

事業名	事業内容	活動内容
①IT 支援事業	i IT 講習事業	仙台市委託・東北福祉大学委託講座
	ii IT サポート事業	在宅就労支援
	iii IT 支援関連事業	収入獲得支援・支援機器の導入支援
	iv 重度障害者コミュニケーション支援事業	重度障害者の意思伝達支援
②福祉支援事業	i 自助・自立のための支援事業	活動なし
	ii 福祉支援関連事業	福祉名刺・卓上カレンダー販売
③各種委託事業	i 東北福祉大学教育 GP 事務局委託	事務局運営
	ii ホームページ更新委託	ホームページ更新作業委託
	iii 伝の心カスタマーセンター業務委託	意思伝達装置の顧客の電話対応
④資格認証事業	i 重度障害者 ICT 支援コーディネータの資格認証	申請に対する審査・資格認証

## ① IT 支援事業

## i. IT 講習事業

「IT 講習事業」は、計画案通り仙台市委託事業と東北福祉大学特別支援教育研究室委託事業を通じて取り組んだ。

仙台市委託分については、全 9 講座を実施し、受益者（受講者）数は延 32 名となった。各講座の実施状況は次の通りである。

## 【仙台市委託分講習会】

講座名	実施時間	会場	受講者数
イラストレーター講座	16	東北福祉大学	3
フォトショップ講座	16	東北福祉大学	3
デザイン考察講座	4	東北福祉大学	8
Web (HTML&CSS) 講座	16	宮城県障害者福祉センター	1
Web (ネットワーク) 講座	4	宮城県障害者福祉センター	1
3DCG 入門講座	8	東北福祉大学	6
3DCG 応用講座	25	東北福祉大学	5
パソコン入門講座 1 回目	10	東北福祉大学	3
パソコン入門講座 2 回目	10	東北福祉大学	2
全 9 座	全 109 時間	2 会場	延べ 32 人

仙台市委託事業での障害者「IT 講習事業」の特徴として、パソコン入門講座を復活と新しく 3DCG に関する講座を試みた。パソコン入門講座は、平成 18 年度の障害者在宅就労支援事業への移行を機に経験者向けの講座が中心となり、これからパソコンを学びたいという方向けの講座実施の機会が失われていた。今回、講座を復活させる事により、新しい参加者にとっての合流機会の拡大とタブレット PC

やスマートフォンが普及している昨今、入門講座のニーズを計る意図で企画した。今年度は、東北福祉大学を会場に、1日5時間×2日のスケジュールで実施した。受講者数の状況は、1回目が3名、2回目は2名となる。自家用車でのアクセスが便利な会場、公共交通機関によるアクセスが便利な会場など、会場により、参加状況が変動するため、次年度は、自家用車でのアクセスが良い、公共施設を会場にしてみるなど、更に、入門講座のニーズを計ってみたい。

次に、3DCG講座では、入門編と応用編を合わせると33時間の長丁場の講座となるが、2つの講座を続けて参加される方が多く、受講者による関心の高さが伺えた。

一方、これまで在宅での作業しやすい業務として位置づけられていたホームページ制作に関する講座を見てみると、受講者数では、ここ数年間において著しく少ない結果となった。更新作業の依頼については、安定して入っている現状から、受講者の関心に変化が生じてきているのではないかと考えさせられる。

次に、東北福祉大学特別支援教育研究室ひかり野塾から委託を受け、特別支援教育を要する生徒を対象としたパソコンスクールを実施した。

【東北福祉大学 特別支援教育研究室ひかり野塾委託パソコン教室】

講座名	実施回数	会場	受講者数
金曜日クラス	15回	東北福祉大学ステーションキャンパス	延57人(4名)

中学生以上を対象とし、

1. パソコンを利用して、漢字の読み書きや文章を書く力を伸ばす。
2. 文字の大きさやレイアウトなどに気を配り、読む人を意識した文書作成が行えるように促す。
3. 表計算ソフトによるデータ処理の基礎を学ぶ。

の3本柱により就職にも役立つパソコンのスキルアップを目指した。

また、タッチタイピングの習得や情報モラル(著作権)、インターネットを利用した情報検索などを個々のスキルや要望に応じて指導した。

ii-1. ITサポート事業(在宅就労支援事業)

在宅就労支援事業では、拠点運営の一環として企業・団体・社会福祉施設へ出向き、PR活動・依頼業務の打ち合わせ・納品・集金を行い、在宅障害者がITを活用した業務遂行を通じ収入獲得につながる活動を行った。本事業で関わっている障害のある方は、本年度7名の参加者が新たに加わり、計66名となった。

iii. IT支援関連事業

「IT支援関連事業」では、障害のある方の在宅就労支援事業の実践場面として【収入獲得支援】と重度障害者用意思伝達装置や日常生活用具(情報・通信支援用具)等の【支援機器の導入支援】に取り組んだ。【収入獲得支援】では「カッティングシート加工」「キーガード製作」「テープ起こし」「印刷関連」を受注した。

【収入獲得支援】

「カッティングシート加工」

引き続き、平成19年度に助成を受けたカッティングプロッタを活用したカッティングシートの加工依頼を受けた。受注実績のある仙台市青葉区の石材店から、今年度も依頼を受けることが出来た。また、新しい依頼者では、若林区のコピーサービス店から2案件の社名、青葉区の建設関連会社から企業ロゴ、同じく青葉区にあるNPO法人から団体名の作成依頼を受ける事が出来た。

発注者	業務内容
コピーサービス店2件	社名作成
建設関連会社	企業ロゴ作成
NPO法人	団体名作成

石材店	顧客名作成
4者5案件	

#### 「キーガード製作」

今年度のキーガード製作では、前年度中に問い合わせのあった方（個人）から新規の製作依頼が入った。また、新しい技術を取り入れた障害者用支援機器を中心に扱う企業（テクノツール株式会社：神奈川県）から複数台の製作依頼があった。例年と比較すると依頼案件が減ったものの、障害者用支援機器を取り扱う企業から依頼があった事は印象深く残り、更なる依頼獲得へつながる事へ期待したい。

発注者	
個人：香川県	
テクノツール株式会社	4台
2件	

#### 「テープ起こし」

昨年度に引き続き「テープ起こし」の依頼が入る。案件数は1件となったが、テープ起こし講座の受講生にとって励みとなる機会となった。

発注者	
個人	
1件	

#### 「印刷関連」

「カッティングシート」加工同様、平成19年度に助成を受けた大判印刷機を活用し、印刷関連の依頼を受けることが出来た。この業務では、下記の通りポスター印刷、横断幕や看板で使用する長尺印刷、そして、会員企業と協力しながら冊子印刷等の依頼対応を行った。

発注者	業務内容
個人7名	ポスター印刷
企業	長尺印刷
仙台市内のNPO法人	長尺印刷
スポーツクラブ親の会	長尺印刷
個人	冊子印刷
学会事務局	学会誌表紙作成
スポーツ団体協議会	表彰状印刷
13者13案件	

#### 【支援機器の導入支援】

本事業では、販売時の収益から支援活動に必要な経費を捻出させる手法により、行政からの委託事業に依存しない意思伝達装置に関する支援活動を展開させた。この事業では、仙台市外に住む方への対応を中心に活動している。なお、今年度は19名への対応となった。

本年度、新規の意思伝達装置導入が6案件（レッツチャット3案件・伝の心3案件）、入力装置の消耗品手配が2件、本体修理2案件（伝の心1案件・オペナビ1案件）、入力装置の修理2案件、周辺機器の修理2案件、視線入力機器1案件の手配を行った。

この事業では、機器の導入（販売）を行うだけではなく、それ以前に支援機器の新規導入相談や修理相談があるため、機器販売を通じた支援活動という方法により、意思伝達装置を必要とする方への支援活動を実現・継続させている。

次に支援状況を示す指標となる訪問支援の件数は、療養されている自宅への訪問は29件、入院先医療機関へは26件となる。その他、町役場、市役所、障害者更生相談所での手続きは、17件となる。

かつて仙台市重度障害者コミュニケーション支援センター事業を通じた支援活動の対象者が、市外へ

転出したのを機に、本事業の利用者となった。その利用者が、本年度、仙台市民へ戻ることとなり、仙台市重度障害者コミュニケーション支援センターの利用者へと復帰した。その間、本事業により、支援の手が途絶えることなく今日に至ることが出来た。また、同一法人にて支援活動が続けられていたことにより、仙台市重度障害者コミュニケーション支援センターの利用者へと復帰した際も、切り替わりが極めてスムーズに行われた。

更に、新たに関わった方の中には、「将来的に仙台市へ移住する予定があり、仙台市民になった時に仙台市重度障害者コミュニケーション支援センターの利用を希望する」方がいた。

仙台市民へなった際の切り替わりがスムーズである事などの期待から本事業の利用を希望される方が出始めるなど、仙台市内と仙台市外をつなぐための事業としても、大きな意義を持つ事業へ発展しつつある。

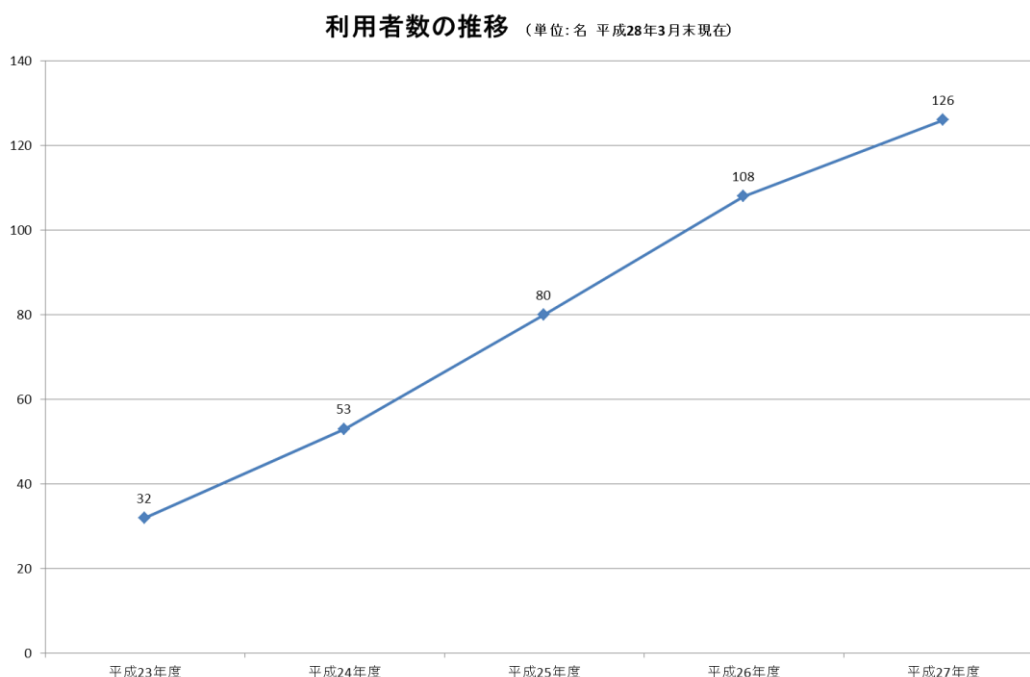
#### iv. 重度障害者コミュニケーション支援事業

重度障害者コミュニケーション支援事業は、仙台市から重度障害者コミュニケーション支援センター事業として業務委託を受けて実施しており、本年度で5年が経過した。

開設状況では、平成26年8月からの土曜日開設を継続させるが、対応状況を踏まえ、27年4月より土曜日開設時の対応職員数を調整し、平日の人員体制を厚くして取り組んだ。

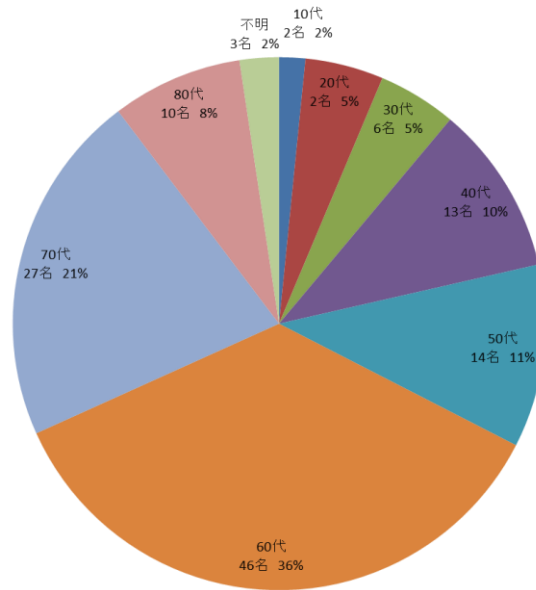
また本事業においては、これまで非常勤職員として従事していた職員が、8月から常勤職員として従事することになり、より安定した顔ぶれでの支援体制が組めるようになった。

下記のグラフは、利用者数の推移を表している。開設時の平成23年度は32名、平成24年度53名、平成25年度80名、平成26年度108名、本年度は126名となり、初年度から約4倍増している。なお、残念ながら、126名の内これまで24名の方が他界された。しかし、他界された後にご遺族の方からの相談が入る事例もあるため、利用者数は他界された人数を除かずに表記している。



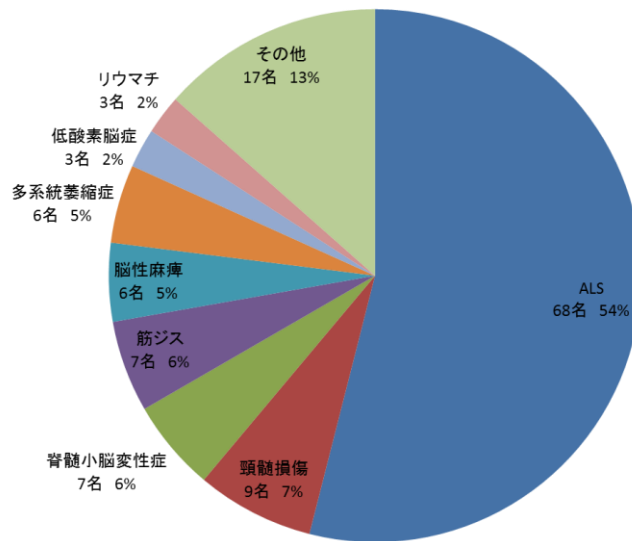
続いて、対象者の年齢を見ていくと、60代が46名(36%)と一番多い。続いて、前後する年代となり、70代が27名(21%)、50代の14名(11%)と続く。不明者は、入院先の医療機関からの相談で対応を開始するが、訪問時に体調が優れないなどの理由から、医療機関の担当職員への情報提供でとどまり、その後、直ぐに転院が決まったため、詳しい属性を確認する事なく関与が終了した事例である。

### センター利用者の年代別割合（平成28年3月末現在）



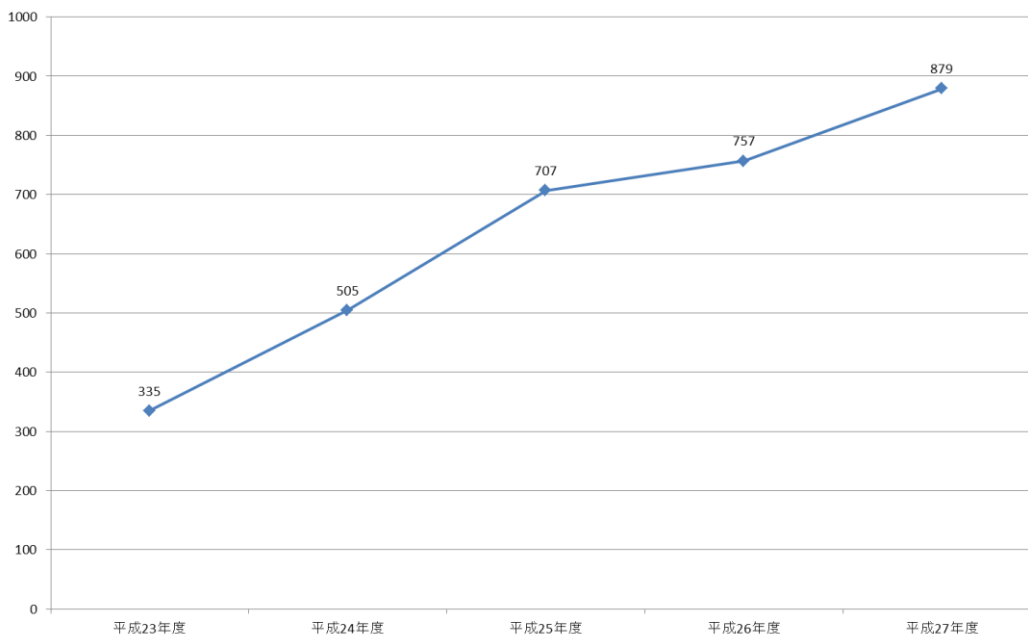
続いて、疾病別では、ALSが68名（54%）と半数以上を占め、頸髄損傷9名（7%）、脊髄小脳変性7名（6%）、筋ジストロフィー7名（6%）の状況となる

### 本センター利用者の疾病別割合（平成28年3月末現在）



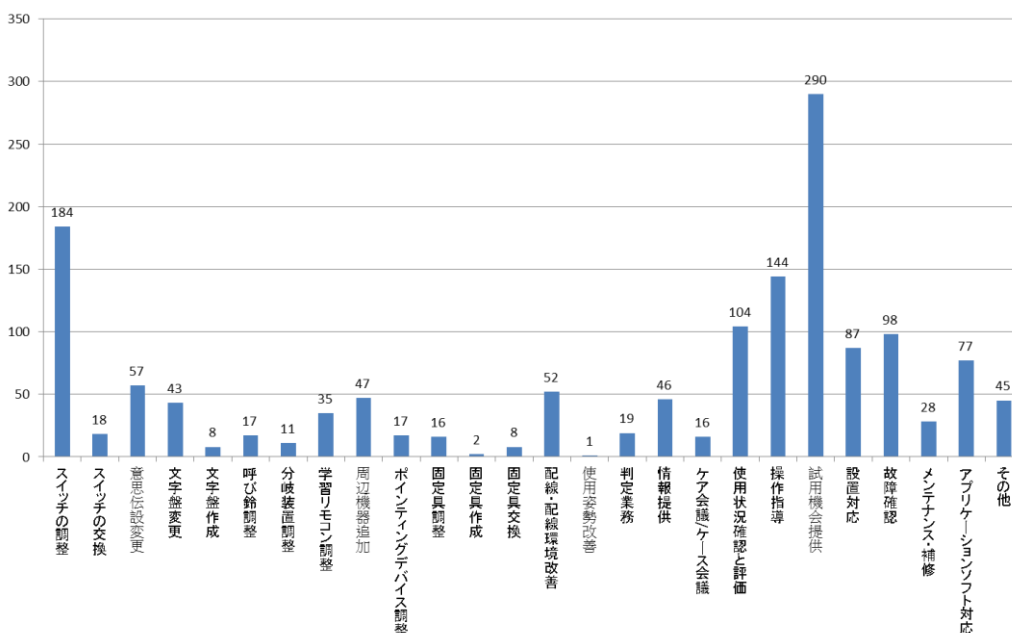
次に、訪問件数の推移では、利用者数の増加に比例するように、初年度から増加傾向を示している。初年度では355件であった年間訪問件数が、平成27年度では879件へと推移している。

訪問件数の推移 (単位: 件 平成28年3月末現在)



続いて、訪問時の対応内容を確認していきたい。これから意思伝達装置を使い始める方や使用中の方が次のスイッチを試すための「試用機会提供」の対応が多い。続いて、使用中または試している「スイッチの調整」、「操作指導」という状況となった。これらは全て、意思伝達装置を『使い始めるため』の対応であり、同時に病状の進行による使いにくさを解消して『使い続けるため』の支援であり、本事業の中核となる取り組みが一番のウェイトを占める結果となった。

平成27年度 訪問時の対応内容別件数 (単位: 件 平成28年3月末現在)



また、訪問支援のための事前準備として、スイッチ制作等に関する取り組みとして、362件の対応を行った。更に、当事者、家族、支援者等からの電話やメールへの対応は前年度の241件を上回り、今年度は343件の結果となった。

そのほか、仙台市障害者総合支援センターへの協力では、補装具費制度の判定業務、仮合わせ業務に同行し、技術支援を行った。年間の同行件数は34件となった。

本事業に関連する取り組みとして、ヘルパーへのスイッチ及び意思伝達装置取り扱い研修会や、医療機関のリハ職などを対象にした難病コミュニケーション支援講座、群馬県神経難病相談支援センター主催の年病コミュニケーション支援研修会、仙台市の補装具費・日常生活用具担当者会議、宮城県神経難病医療連携センター主催の医療従事者等実地研修会、宮城県肢体不自由児協会主催のパソコンボランティア養成講座、訪問看護ステーション等で、意思伝達装置に関する話や仙台市の取り組みを報告する機会があった。その他、職員のスキルアップのための研修会参加として、仙台市障害者ケアマネジメント研修会や障害者差別解消相談支援研修会へ参加した。更に、第30回リハビリテーション工学カンファレンス（沖縄）にて本事業の取り組みについての報告を行った。

その他、平成28年2月23日に本事業について、仙台放送から取り上げてもらう事ができ、多くの方々に取り組みを知ってもらう機会となった。

## ② 福祉支援事業

### ii. 障害者作品商品化・販売事業

『福祉支援事業』では、例年通り「障害者作品商品化・販売事業」を継続した。福祉名刺では144件の注文があり、デザイン提供した障害者2人の定期的な収入獲得の継続が実現した。

## ③ 各種委託事業

『各種委託事業』では、引き続き「i. 東北福祉大学の教育プログラムの事務局運營業務委託」、「ii. ホームページの制作・更新の業務委託」、そしてパシフィックサプライ株式会社（大阪府）から委託を受けた重度障害者用意思伝達装置「伝の心」の「iii. カスタマーセンター業務」に取り組んだ。

### i. 東北福祉大学教育重度障害者 ICT コーディネーター育成プログラム事務局運營業務委託

東北福祉大学の事業後方支援として、人材育成推進委員会資料の準備や各種印刷物の作成、重度障害者への地域支援のためのフィールドワーク事務局としての任務を行い、人材育成事業を補完する活動を展開してきた。

### ii. ホームページ制作・更新業務委託

本年度も、障害のある方への在宅就労支援や IT 講習事業で学んだことを活かし、収入獲得機会なるようホームページ関連の業務委託に対応している。ホームページの更新関連では、「日本金融学会」、「生活経済学会」、「仙台市障害者職業能力開発促進事業」「仙台市障害者就労支援センター」「仙台市障害者福祉協会」の5案件について年間委託契約を継続する事が出来た。

他、更新の必要が発生した都度の対応であるが、これまでも対応を行ってきた「社会福祉法人加美玉造福社会特別養護老人ホーム岩出の郷」から更新作業依頼を受けることが出来た。更に新しい案件として、「アプトジャパン」より新規のページ作成依頼を受けることが出来た。

発注者	業務内容
日本金融学会	年間更新業務委託
生活経済学会	年間更新業務委託
仙台市障害者職業能力開発促進事業	年間更新業務委託
仙台市障害者就労支援センター	年間更新業務委託
仙台市障害者福祉協会	年間更新業務委託
アプトジャパン	新規ページ作成
岩出の郷	更新作業
7 案件	

### iii. 伝の心カスタマーセンター業務委託

伝の心カスタマーセンター業務委託を継続して実施した。電話対応件数も増加しており、昨年度より多い158件となった。電話対応の内容については、伝の心の設定に関する相談、メール機能、インターネット接続、リモコン機能など伝の心側の相談の他、入力用のスイッチに関する相談も受けるようになってきた。なお月別対応件数については、下記の表の通りである。

「伝の心カスタマーセンター月別電話対応状況」

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
21	7	16	13	14	9	14	11	10	10	15	18	158

「コール業務（使用状況の聞き取り）」

ユーザー登録者に対しての使用状況に関する聞き取りを行った。聞き取りのタイミングは、ユーザー登録後1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月、6ヶ月、1年となる時期に電話による使用状況を確認した。月別の確認状況は、下記の表となる。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
37	36	61	30	25	40	55	32	31	18	47	40	452

④ 資格認証事業

重度障害者ICT支援コーディネータの資格認証事業を実施し、昨年度に引き続き3級の認証を行った。平成27年度は8名から申請があり、申請者全8名へ3級の資格認証を行った。



2 事業に関する事項

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
<b>①IT支援事業</b>						
<b>i. IT講習事業</b>	<b>全7コース</b>	<b>下記</b>	<b>下記</b>	<b>延27人</b>	<b>障害者延32人, 発達障害児4人, 計36人</b>	<b>456</b>
	障害者対象講座 (仙台市分) パソコン入門講 座①	8/8.9	東北福祉大学	6人	障害者3人	
	フォトショップ 講座	8/26.27.31. 9/1	東北福祉大学	14人	障害者3人	
	イラストレータ ー講座	9/5.6.8.9	東北福祉大学	12人	障害者3人	
	Web (HTML&CSS) 講座	10/3.4.11.1 7	宮城県障害者 福祉センター	8人	障害者1人	
	Web(ネットワー ク)講座	10/18	宮城県障害者 福祉センター	2人	障害者1人	
	パソコン入門講 座②	11/28.29	東北福祉大学	5人	障害者2人	
	3DCG入門講座	2/27.28	東北福祉大学	7人	障害者6人	
	3DCG応用講座	3/1.3.8.10. 12	東北福祉大学	17人	障害者5人	
	デザイン考察講 座	3/19	東北福祉大学	2人	障害者8人	
	発達障害児対象 (特別支援教育 PCスクール)	6/12.26.7/1 0.24.9/25.1 0/9.23.11/ 6.20.12/4.1 1.18.1/8.2 2.2/5	東北福祉大学	1人	発達障害児4人	
<b>ii. ITサポート事 業</b>	<b>下記</b>	<b>下記</b>	<b>下記</b>	<b>2人</b>	<b>障害者66人</b>	<b>505</b>
	在宅就労支援	4/1-3/31 (随時)	企業・団体等へ の訪問 SAN事務局内等 での打合せ	2人	障害者66人	
<b>iii. IT支援関連事 業</b>	<b>下記</b>	<b>下記</b>	<b>下記</b>	<b>延21人</b>	<b>障害者23人</b>	<b>2,618</b>
	収入獲得支援事 業 カッティングシ ート加工 ・コンビニ店2 案件	4/1-3/31 (随時)	事務局 障害者宅	1人	障害者1人	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設関連会社</li> <li>・NPO法人</li> <li>・石材店</li> </ul> <p><b>キーガード製作</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人（香川県）</li> </ul> <p>・テクノツール</p> <p><b>テープ起こし</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人</li> </ul> <p><b>印刷関連</b></p> <p>大判印刷</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人(7名)</li> <li>・企業</li> <li>・NPO法人</li> <li>・スポーツクラブ親の会</li> </ul> <p>冊子印刷</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人</li> </ul> <p>表紙作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学会事務局</li> </ul> <p>表彰状印刷</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ団体協議会</li> </ul> <p><b>支援機器導入事業</b></p>				1人	障害者1人	
					1人	障害者1人	
					2人	障害者1人	
			仙台市外近隣市町村	訪問72件	3人	重度障害者19人	
iv. 重度障害者コミュニケーション支援事業	下記	下記	下記	5人	障害者78人	3,648	
	重度障害者への意思伝達支援	4/1-3/31 (随時)	仙台市内及び入院先医療機関	5人	障害者78人		
			訪問支援879件 支援準備362件 電話・メール343件				
<b>②福祉支援事業</b>							
i. 自助・自立のための支援事業	※平成27年度は計画協議のみ						
ii. 福祉支援関連事業		下記	下記	延2人	障害者2人 市民延144人	380	
	障害者作品商品化・販売事業：福祉名刺	4/1-3/31 (随時)	事務局	2人	作品製作者2人 (肢体不自由者) 販売数144件		
<b>③各種委託事業</b>							
i. 事務委託	東北福祉大学事務委託	下記	下記	延30人	障害者延9人 学生16人 重度障害者610人 学生16人	1,228	
		4/1-3/31	事務局	2人			

ii. HP制作・更新 業務委託	HP制作・更新業務委託	4/1-3/31 (随時)	事務局 障害者宅	2人		
	日本金融学会			2人	障害者2人	
	生活経済学会			1人	障害者1人	
	仙台市障害者職業能力開発促進事業			2人	障害者2人	
	仙台市障害者福祉協会			1人	障害者1人	
	仙台市就労支援センター			1人	障害者1人	
	岩出の郷			1人	障害者1人	
	アプトジャパン			1人	障害者1人	
iii. 伝の心カスタマーセンター業務委託	パシフィックサプライ株式会社	4/1-3/31	パシフィックサプライ(株)仙台営業所	2人	伝の心ユーザー (重度障害者)	
	電話対応の部				158人	
	Call業務の部				登録者延べ452人	
<b>③資格認証事業</b>						
重度障害者ICTコーディネータ育成 資格認証	3級認定	下記	下記	3人	学生8人	0
		4/1-3/31	事務局	3人	学生8人	